

第2期 下松市スポーツ推進計画

令和6年3月
下松市

は じ め に

スポーツは、心身の健全な発達、健康や体力の保持増進など、人生を健やかに過ごすための身体活動であるとともに、私たちに夢や感動を与え、また、人々の交流を促進し、地域のにぎわいを生み出すなど、多様な効果が期待されるものであります。

本市では、平成26年3月に下松市スポーツ推進計画（第1期計画）を策定し、心豊かな生活の実現に向け、生涯にわたってスポーツに親しんでいただけるよう、「する」スポーツの推進、「観る」スポーツの推進、「支える」スポーツの推進を基本方針に、さまざまな施策に総合的かつ計画的に取り組んでまいりました。



この間、新型コロナウイルス感染症の拡大による活動自粛要請等により、スポーツをする機会が減少し、スポーツを通じた社会交流などに深刻な影響を及ぼしました。令和3年には、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されました。コロナ禍により、「ホストタウン」の相手国であるベトナム国バドミントン選手のキャンプ地誘致は実現しませんでした。今後も積極的な交流を継続し、「わがまちスポーツ」であるバドミントンの普及や、スポーツによる地域の活性化を推進してまいります。令和5年5月には、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが「5類感染症」に移行され、市民のスポーツ活動は以前の形を取り戻しつつあります。スポーツ参画人口の拡大等に向けて、スポーツイベント等の施策に積極的に取り組んでまいります。

第1期計画策定から10年が経過し、変化していく社会情勢や市民ニーズを踏まえ、本市では、新たに第2期下松市スポーツ推進計画を策定しました。本計画は、第1期計画の基本的な考え方を踏襲しつつ、新たに3つの施策の柱を設定し、市民の皆様が生涯にわたってスポーツに参画できる環境整備を進めていく指針とするものであります。スポーツの価値を一層高めるため、これからも、計画の諸施策を積極的に推進してまいりますので、市民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

終わりに、本計画の見直しにあたりまして、市民ワークショップにご協力いただきました皆様をはじめ、貴重なご意見やご提言をいただきました下松市スポーツ推進計画策定に関する検討委員会委員の皆様、パブリックコメント等によりご意見を寄せていただいた皆様、ご協力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

令和6年3月

下松市長 國 井 益 雄

目 次

第1章	下松市スポーツ推進計画の基本的考え方	1
1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけ	2
3	計画の期間	2
第2章	下松市スポーツ推進計画の体系	3
1	基本理念	3
2	基本方針	3
3	施策の柱	3
4	目標の設定	3
5	計画の推進体系	4
第3章	下松市スポーツの現状	5
1	下松市の体育施設等の利用状況	5
2	下松市のスポーツ組織・教室などの現状	6
3	下松市の学校体育の現状	8
第4章	施策の方向性	9
1	市民ワークショップのまとめ	9
2	下松らしさを活かした施策の方向性	13
第5章	施策の展開	16
1	スポーツを「つくる／はぐくむ」	16
2	スポーツで「あつまり、ともに、つながる」	22
3	スポーツに「誰もがアクセスできる」	25
第6章	計画の推進	28
1	市民・スポーツ各関係団体・行政との協働の仕組みの構築	28
2	課内での進捗状況の把握	28
3	計画の達成状況の検証	28
4	市民への周知	28

資 料	29
1 学校体育に関する各種調査結果	30
2 下松市スポーツ推進計画策定過程	33
3 下松市スポーツ推進計画策定に関する検討委員会設置要綱	34
4 下松市スポーツ推進計画策定に関する検討委員会委員名簿	35

第1章 下松市スポーツ推進計画の基本的考え方

1 計画策定の趣旨

スポーツは、青少年の健全な心身の育成や発達に重要であるとともに、私たちすべての市民に、明るく、生きがいのある生活をもたらし、活気のある「まちづくり」をする上で大切な要素の一つです。

本市においては、平成26年3月に「下松市スポーツ推進計画」（第1期計画）を策定し、「生涯スポーツ活動による心豊かな生活の実現をめざして」を基本理念として、様々な施策に総合的かつ計画的に取り組んできました。

一方、国においては、スポーツ行政の総合的な推進を図るための中核として、平成27年10月にスポーツ庁が発足し、令和4年3月には「第3期スポーツ基本計画[※]」が策定されました。

また、山口県では、平成28年4月に観光スポーツ文化部が創設され、スポーツ振興はもちろん、スポーツによる交流人口の拡大や地域活性化に向けた施策を展開しており、令和5年3月には、「やまぐちスポーツ推進プラン2022[※]」が策定されました。

第1期計画策定以降、人口減少の進行や、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、スポーツを取り巻く環境は大きく変化し、社会がスポーツに対して求める力や効果は多様となってきました。これらの変化を踏まえ、第1期計画の基本的な考え方を継承し、今後展開すべき施策等を明示した「第2期下松市スポーツ推進計画」を策定します。

【第3期スポーツ基本計画（令和4年3月策定）】

スポーツ基本法第9条第1項に基づき、文部科学大臣が定めなければならないとされている、スポーツに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画。

第2期計画において掲げた、①スポーツで「人生」が変わる ②スポーツで「社会」を変える ③スポーツで「世界」とつながる ④スポーツで「未来」を創る という4つの中長期的な基本方針は踏襲しつつ、以下の3つの新たな視点を踏まえた施策が重要としている。

- 1 スポーツを「つくる／はぐくむ」
- 2 スポーツで「あつまり、ともに、つながる」
- 3 スポーツに「誰もがアクセスできる」

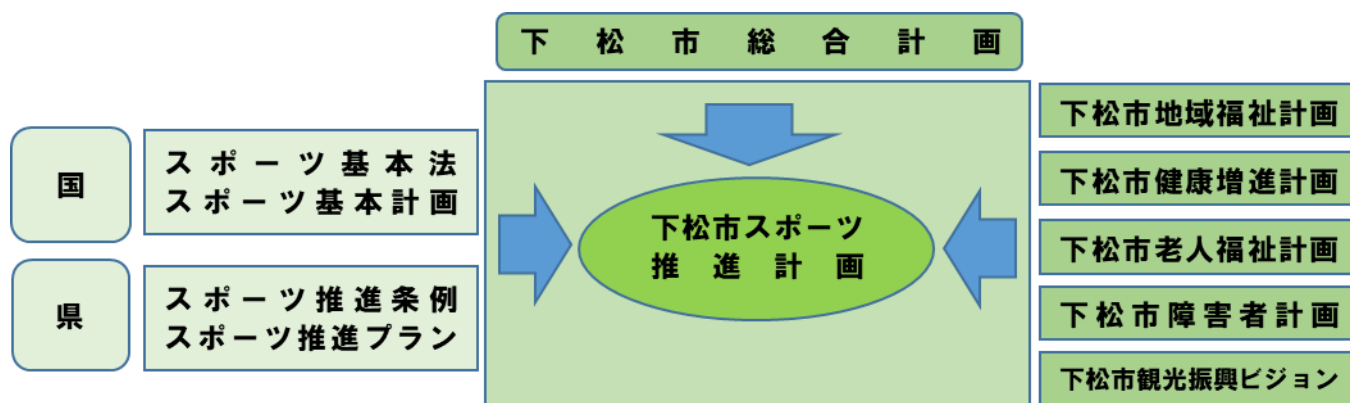
【やまぐちスポーツ推進プラン2022（令和5年3月策定）】

スポーツの持つ多様な力を様々な分野で活用しながら、基本理念である「輝く、夢あふれるスポーツ元気県やまぐち」の実現を目指す。

- 施策の柱：①多様な主体の参画によるスポーツの推進
②競技力の向上
③スポーツ環境の整備
④スポーツによるまちづくり・地域活性化

2 計画の位置づけ

本計画は、下松市総合計画の下位計画とし、下松市の各計画及び、国のスポーツ基本計画、山口県スポーツ推進計画と整合性を取って策定しています。



3 計画の期間

計画期間は、10年間程度を見通した5年間(令和6年度～令和10年度)の計画とします。

年度	一 計 画 期 間					R11 2029	R12 2030	R13 2031	R14 2032	R15 2033
	R6 2024	R7 2025	R8 2026	R9 2027	R10 2028					
第2期 下松市スポーツ推進計画					★					
次 期 計 画										

★は、中間見直しの実施時期

第2章 下松市スポーツ推進計画の体系

1 基本理念

市民が生涯にわたってスポーツに関わり、心身ともに健康な生活を送れるよう、また、スポーツを通じて、市民が地域と一体感を持って心豊かに生活できるまちづくりを目指し、次の基本理念を設定します。

「生涯スポーツ活動による心豊かな生活の実現をめざして」

2 基本方針

「する」「観る」「支える」スポーツの推進を基本方針とし、新たに施策の柱を設定します。

3 施策の柱

(1) スポーツを「つくる／はぐくむ」

スポーツイベントの開催や関係団体との連携などにより、スポーツに触れる機会を多く提供します。

(2) スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

様々な立場や特性を有した人、関係団体や企業などと連携し、スポーツを通じた地域の交流を促進します。

(3) スポーツに「誰もがアクセスできる」

性別や年齢、障害等の違いによってスポーツ活動に差が生じないように、誰もが参加しやすいスポーツ環境の整備を図ります。

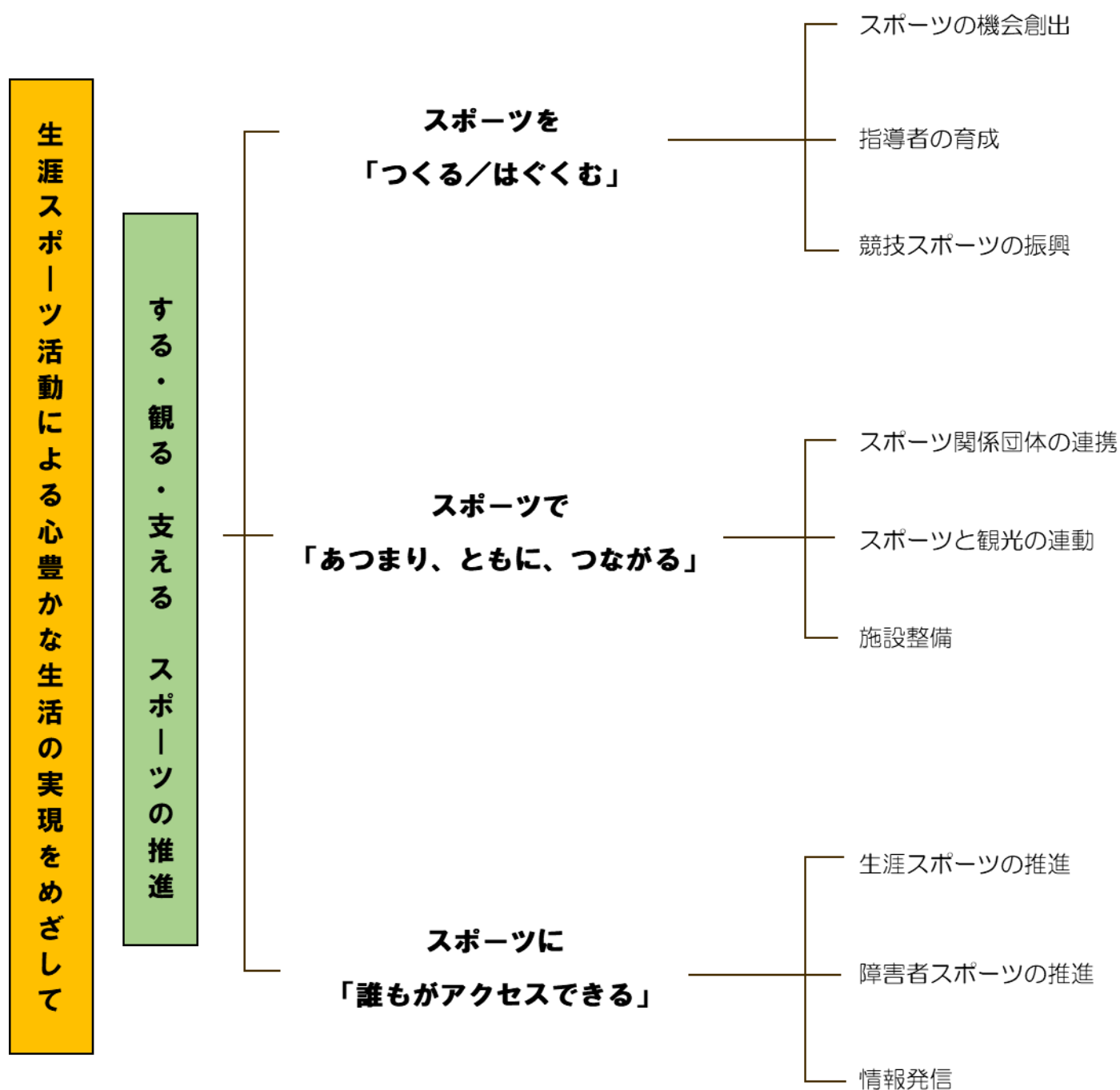
4 目標の設定

本計画の5年後の目標として次の5つの指標を設定し、評価を行います。

指 標 項 目		現状値※	令和 10 年度
1 市民のスポーツ実施率 (週 2 回・30 分以上の運動を 1 年以上)	成人男性	47.8%	55%
	成人女性	36.0%	45%
2 スポーツ少年団登録者数(団員)		439 人	500 人
3 スポーツイベント参加者数(年間)		1,672 人	1,800 人
4 市内体育施設の利用者数(年間)		195,594 人	200,000 人
5 スポーツイベントにおけるボランティアの活動のべ人数(年間)		96 人	150 人

※現況値は、計画策定時において把握可能な直近の数値です。

5 計画の推進体系



第3章 下松市スポーツの現状

1 下松市の体育施設等の利用状況

施設名	所在地	利用時間	R4 年度 利用人数（人）
	電話 0833		
市民体育館	西柳 1 丁目 1 番 1 号	平日 9:00-22:00	43,695
	41-2832	日曜祝日 9:00-17:00	
市民武道館	西柳 1 丁目 1 番 1 号	-	利用中止
	41-2832		
公園プール	西柳 1 丁目 1 番 1 号	10:00-16:00 (7月21日～8月31日 火曜除く)	2,973
	41-2832		
下松スポーツ公園 トラックワンアリーナ	大字河内 10140 番地	平日 9:00-22:00	38,207
	45-3700	日曜祝日 9:00-17:00	
下松スポーツ公園 総合グラウンド	大字河内 10140 番地	6:00-日没	31,074
	45-3700		
下松スポーツ公園 球技場	大字河内 10140 番地	6:00-日没	5,265
	45-3700		
温水プール (プール、浴室、トレーニ ング)	大字河内 10140 番地	平日 11:00-20:00 (月曜除く)	28,832 ※R5.12月閉館
	41-6200	土日祝日 10:00-18:00	
市民運動場	大字末武下 620 番地 1	6:00-22:00	23,248
	41-2832	(夜間照明有り)	
葉山グラウンド	葉山 1 丁目 819 番地 34	6:00-日没	8,005
	45-3700		
恋ヶ浜緑地庭球場	大字東豊井 551 番地 1	9:00-日没	11,126
	41-2832		
下松公園庭球場	大字西豊井 460 番地	9:00-日没	3,169
	41-2832		
健康増進室	中央町 21 番 1 号	9:00-17:00	9,673
	41-1234	(日曜祝日除く)	

2 下松市のスポーツ組織・教室などの現状

① 下松市スポーツ協会

25 の登録団体があり、活動しています。

ー下松市スポーツ協会登録者数の状況ー

	名 称	登録 人数		名 称	登録 人数
1	下 松 市 水 泳 連 盟	70	14	下 松 市 剣 道 連 盟	76
2	下 松 市 陸 上 競 技 協 会	70	15	下 松 市 弓 道 連 盟	53
3	下 松 市 ス キ ー 連 盟	4	16	下 松 市 空 手 道 連 盟	95
4	下 松 市 野 球 連 盟	340	17	下 松 市 テ ニ ス 協 会	200
5	下松市ソフトボール協会	129	18	合 気 会 下 松 道 場	32
6	下松ソフトテニス連盟	120	19	下松市中学校体育連盟	1,541
7	下 松 市 卓 球 協 会	266	20	高 等 学 校 体 育 連 盟	1,310
8	下 松 市 サ ッ カ ー 協 会	545	21	下松市スポーツ推進委員協議会	24
9	下松市ハンドボール協会	40	22	下 松 市 ス ポ ー ツ 少 年 団	439
10	下松市バドミントン協会	290	23	武 術 太 極 拳 協 会 下 松	130
11	下松市バスケットボール協会	459	24	下松グラウンド・ゴルフ協会	251
12	下松市バレーボール協会	478	25	下 松 ゲ ー ト ボ ー ル 協 会	17
13	下 松 柔 道 協 会	55		合 計	7,034

※令和5年度

② 下松市スポーツ少年団

21 の登録団体があり、主に市内の小学生が登録し、活動しています。

ースポーツ少年団登録者数の状況ー

	名 称	登録 人数		名 称	登録 人数
1	花岡ミニバス	17	12	豊井サッカー	29
2	中村ソフト	6	13	下松中央ミニバスケットボールクラブ	40
3	花岡ソフト	28	14	末武ミニバスケットボールクラブ	41
4	久保ソフトボール	17	15	下松柔道	16
5	下松東陽陸上	23	16	旗岡軟式野球	12
6	久保サッカー	14	17	久保ミニバスケットボール	13
7	下松中央ソフトボール	13	18	下松空手	55
6	花岡サッカー	19	19	久保軟式野球	13
9	花岡バレーボール	14	20	江の浦なぎなた	18
10	末武ソフト	23	21	末武バレーボール	14
11	中村ミニバスケットボール	14		合 計	439

※令和5年度

③ 総合型地域スポーツクラブ

市内には総合型地域スポーツクラブがあり、活動しています。

クラブ	実 施 概 要
<p>くだまつ絆星スポーツクラブ</p> <p>「ちいさな子どもから高齢者まで、いつでもどこでもみんな気軽に楽しく輝ける場と、仲間づくりを提供するクラブ」</p>	<p>*入会者 229 人</p> <p>*定期的教室・サークル活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 卓球 87 回／年 ジュニアハンドボール 152 回／年 バドミントン 82 回／年 ナイトランニング 42 回／年 おさんぽりん 22 回／年 ノルディックウォーキング 21 回／年 ヨガ 12 回／年 KIDS☆JUDO体操教室 36 回／年 パドルテニス 42 回／年 ハイキング 14 回／年

※令和 4 年度

④ スポーツ推進委員の活動

地域から選出されたスポーツ推進委員が様々な活動をしています。

主な取組	概 要
市が主催するイベント支援	短期スポーツ教室、スポーツフェスティバル、健康ウォーキング大会などのイベントの運営支援を行っている。
スポーツネット「きらら」発行	各種イベントの開催案内や結果を掲載したものを年に 2 回発行し、参加促進を図っている。
研修会への参加	周南地域スポーツ推進委員協議会総会・研修会、山口県スポーツ推進委員協議会研修会、中国地区スポーツ推進委員協議会研修会等へ参加している。研修会では、実技指導、研究などによる委員の資質向上を図り、他市の委員との情報交換を行っている。

※令和 5 年度

ースポーツ推進委員構成ー

第32期下松市スポーツ推進委員協議会	下松中央公民館区	3 人	笠戸公民館区	1 人
	豊井公民館区	2 人	笠戸島公民館区	1 人
	久保公民館区	2 人	深浦公民館区	1 人
	花岡公民館区	3 人	米川公民館区	1 人
	末武公民館区	3 人	市内全域	5 人
	中村公民館区	2 人	合計	24 人

※令和 5 年度

⑤ 市が主催する教室・大会

さまざまな教室・大会を継続的に開催し、実施内容や運営方法の見直しを図っています。

主な取組	概 要	参加人数※
短期スポーツ教室	公民館事業を通じて、気軽にできるレクリエーションスポーツの体験を中心に実施し、地域の方との交流、スポーツの楽しさを体感する場として位置付けている。	318
水泳教室	市内の小学校に通学する泳ぎを苦手とする児童を対象に、水泳のスキルアップを図っている。	120
ワンバウンドふらばーボールバレー大会	特殊なボールを使用し、誰もが気軽に楽しめるゲーム性の高いレクリエーションスポーツの大会を開催している。	95
スポーツフェスティバル	スポーツ振興と市民の健康づくり・体力づくりを目的に、様々な種目の体験会を開催している。	91
健康ウォーキング大会	毎年異なるコースで開催している。コース途中には、ニュースポーツエリアを設けている。	116
下松駅伝競走大会	米泉湖周回コース、全5区間 24km を競走している。	80
下松レクフェスタ	市民スポーツの振興と市民相互のふれあい、健康・体力づくりを目的に、ニュースポーツの大会を開催している。	56
シニアeスポーツ※体験会	高齢者の社会参加や脳の活性化、認知症予防を目的に開催している。	23
くだまつ笠戸島アイランドトレイル	風光明媚な瀬戸内海国立公園「笠戸島」を舞台とした、林道・砂利道等未舗装の路を走るアウトドアスポーツ。	773

※令和5年度（短期スポーツ教室のみ令和4年度）

※eスポーツとは、「エレクトロニック・スポーツ」の略。電子機器を用いて行う競技やスポーツ、娯楽全般を指す。

3 下松市の学校体育の現状

運動能力調査から、小学校5年生の児童の体力は、平成30年度と比較し、向上がみられた種目もありますが、全国平均と比較すると、体力合計点において下回る結果となりました。中学校2年生の生徒は、平成30年度と比較し、多くの種目で向上がみられ、体力合計点において全国平均を大きく上回る結果となりました。今後は、小学校における、体力の向上に向けた取組が課題と考えられます。（調査結果の詳細は27ページ参照）

運動習慣等調査においては、児童・生徒ともに女子よりも男子の方が、運動に対する好意的な感情は高いことが明らかになりました。また、中学校進学後や中学校卒業後に運動を続けたいと回答した割合も、女子よりも男子の方が高い傾向がみられました。今後は、女子児童や女子生徒が前向きにスポーツに取り組むことができるようなアプローチが必要と考えられます。（調査結果の詳細は29ページ参照）

第4章 施策の方向性

1 市民ワークショップのまとめ

【開催日時・場所】

- ・令和5年12月16日（土）
14:00～16:30
- ・ほしらんどくだまつ サルビアホール

【参加者】

市内でスポーツ推進に関わっている団体、本計画の策定委員など一般市民28人、中学生15人が参加しました。

【実施方法】

本計画策定に向けた課題を「スポーツによるまちの活性化について」と設定し、6つのグループに分かれ、ワークショップ形式*で話し合いました。ファシリテーターの進行に沿って、考えるヒント「①まちの課題の発見と解決のための目標設定、②まちの特色、③地域資源の活用、④人材発掘・登用、⑤資金の確保、⑥団体と連携・協働・交流」を参考に、考えて企画・提案からグループ化、意見の可視化（図解化）までの作業を協力しながら進めていきました。最後に、各グループでまとめた内容について、全員の前で発表を行いました。



※ワークショップ形式…参加者全員が主役。自ら進んで発言し、共に学びあったり、何かを生み出したりする検討のスタイル。

Aグループ



「する」「観る」「支える」のサイクルによる循環型まちづくり

【イベントの充実】

- 主 ☆誰でも参加できるような状態をつくる ☆eスポーツの普及
☆トップアスリートとの交流 ☆モルックを広める

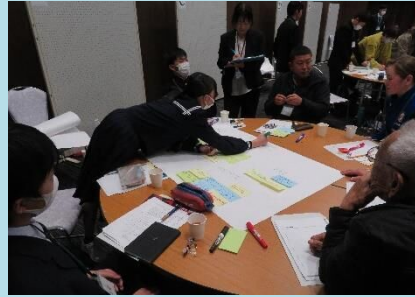
【観る環境づくり】

- な ☆パブリックビューイングの設置 ☆SNS配信による日程調整
☆応援席の設置・充実 ☆市内でプロの試合の無料観戦

【環境整備（活動支援）】

- 意 ☆ランニングコースをつくる ☆公園にバスケットコート（屋外）
見 ☆体育館やグラウンドなどの活動場所を確保できるようにする
☆モノ（練習着やユニフォームなど）の支援があると良い

Bグループ



魅力あるまちづくりで、若者が帰ってきたくなるまちへ

【スポーツを通じた交流】

- ☆多世代交流（高齢者、赤ちゃんなど）で地域の輪ができる
- ☆部活動に地域の人やプロの人が教えに来る機会を設ける
- ☆プロ選手によるスポーツ体験教室 ☆市民一体となる行事

【広報】

- ☆TikTok・Instagramによる情報発信
- ☆市広報紙にスポーツコーナー ☆スポ少の広告を集まる場所に

【環境整備（活動支援）】

- ☆人工芝のグラウンドをつくる ☆誰もが通えるアカデミー
- ☆スポーツ競技者の就職の受け皿を増やす

Cグループ



地域の人に応援してもらい、やる人も教える人も増やす

【イベントの充実】

- ☆スポーツする日（月1回など）をつくる ☆スポーツ体験会
- ☆市民運動会 ☆昔遊びのできる場 ☆スポーツ観戦ツアーの開催

【スポーツを通じた交流】

- ☆公民館まつりへ地域のスポーツクラブに積極的に参加してもらう
- ☆地域のスポーツクラブに中高生が教えに行く

- ☆小学生が中学・高校の部活動を見学したりできるようにする

【環境整備（活動支援）】

- ☆夜でも運動や練習ができる施設がほしい ☆活動資金の補助
- ☆施設の使用料を安くする ☆良い指導者を育成する環境づくり

Dグループ



スポーツで人を笑顔に、つながり「スマイル」

【スポーツを通じた交流】

- ☆中学生が小学生を、高校生が中学生を指導する場をつくる
- ☆部活動で週1回、経験者のコーチが指導してくれる
- ☆一流選手の教室（実技と講話） ☆市内一斉に朝のラジオ体操

【障害者への理解】

- ☆パラスポーツへの理解 ☆誰もが楽しめるレクリエーション
- ☆障害を持った人と運動を一緒にできると良い

【環境整備（活動支援）】

- ☆学校施設の有効利用（体育館の開放）
- ☆大会ごとのスポンサー探し ☆総合型スポーツクラブの活用

Eグループ



市民総参加のスポーツフェスを開催しよう

【イベントの工夫】

- ☆地域に密着した種目を企画する（笠戸島を利用するイベント）
- ☆ボランティアも楽しめるような内容にする

【ボランティア（支援）】

- ☆ケータリングにたくさん参加してもらう ☆若い人を引き込む
- ☆大会開催での商工会とのタイアップ（賞品を協賛してもらう）
- ☆部活動で地域の人に指導してもらう（地域で練習する）機会を設ける

【情報発信】

- ☆参加者を増やすために、SNS（Xなど）を活用して周知を図る
- ☆障害者へのスポーツ参加に関するアプローチができていない

Fグループ



スポーツを楽しむ成長する、誰でも参加できる環境づくり

【イベントの工夫】

- 主 ☆子どもから大人まで参加できる行事 ☆子どものための運動会
☆ニュースポーツを広める手段 ☆海でするスポーツフェスタ

【次世代の育成】

- な ☆市として全国大会に出られる種目を特化して進める
☆少年スポーツクラブを増設する ☆競技スポーツの指導者の確保
意 ☆スポーツ選手との交流 ☆プロによる指導の機会

【施設整備】

- 見 ☆ハイツ跡地にレクリエーション施設をつくる ☆登山道の整備
☆観るための野球場・サッカー場が必要 ☆アスレチック設備

グループワークでは、各グループとも熱心な話し合いが行われ、その内容を色鮮やかに模造紙にまとめていきました。

発表は中高生を中心に行われ、1グループ約3分程度で、話し合いの中であった意見や提案などを参加者全体で共有しました。

ワークショップの成果は、事務局において内容を精査し、策定検討委員会の協議を踏まえ、本計画にしっかりと反映させています。



2 下松らしさを活かした施策の方向性

(1) わがまちスポーツの発展

項 目	現 状	推進施策の方向性
ハンドボールの推進	平成 28 年に華陵高校女子ハンドボール部が全国 3 位に進出するなど、市内の中学校、高校が全国大会に多く出場している。	<ul style="list-style-type: none"> • わがまちスポーツであることの周知 • 競技力向上を目的としたトップアスリートとの交流会の開催 • 試合の案内や試合結果などの情報提供
バドミントンの推進	<p>全国トップレベルの選手を招いた大会や技術指導などを行い、競技人口の底辺を広げてきた。</p> <p>現在でも、毎年全国レベルの大会に下松市の選手が出場している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 東京 2020 オリンピックに係るベトナムとのホストタウン交流事業 • 地域包括連携協定を活用したスポーツによるまちづくりの推進 • 施設整備

(2) 自ら手軽に行うスポーツの支援

項 目	現 状	推進施策の方向性
ウォーキング等の推進	<p>下松スポーツ公園のラバーコースで多くの市民がウォーキングやジョギングを楽しんでいるほか、市では年 1 回ウォーキング大会を実施している。</p> <p>市内には多くのハイキングコースがあり、マップを作成して周知している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ウォーキング大会の継続実施 • 下松スポーツ公園のラバーコースの利用促進 • ハイキングコースの整備と周知
水泳の推進	<p>毎年、小学生を対象として、泳力向上を目的に水泳教室を実施している。</p> <p>現在、温水プールは、多機能複合型スポーツ施設整備に向けて協議を進めている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 水泳教室の継続実施 • 新施設の利用促進

(3) 公民館講座

項 目	現 状	推進施策の方向性
公民館スポーツ講座	生涯スポーツの推進を目的に、各公民館で様々な種目のスポーツ活動を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の周知 ・ 活動団体への支援 ・ 部活動地域移行の受け皿としての展開

(4) 下松らしいイベント

項 目	現 状	推進施策の方向性
スポーツフェスティバル	スポーツ振興と市民の健康づくり・体力づくりを目的に、様々な種目の体験会を開催している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施種目の見直し ・ レクリエーションスポーツの周知・活用 ・ ボランティア制度の活用
下松駅伝競走大会	米泉湖周回コース、全 5 区間 24km を競走している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者数、交通事情を考慮したコースの設定 ・ ボランティア制度の活用
レクフェスタ	ニュースポーツ数種目の大会を開催している。近年参加者が減少傾向にある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースポーツの認知度向上 ・ ボランティア制度の活用
くだまつ笠戸島 アイランドトレイル	市内の観光拠点「笠戸島」を舞台とした林道・砂利道等未舗装の路を走るアウトドアスポーツで、毎年全国各地から多くの参加者が集う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツと観光を融合させる仕組みづくり ・ ボランティア制度の活用
笠戸島 KidsRun フェスタ	笠戸島家族旅行村を会場とした小学生マラソン大会。県外からも多くの参加者が集う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツと観光を融合させる仕組みづくり

(5) 下松らしいしくみづくり

項 目	現 状	推進施策の方向性
企業との連携・協働	市内の企業との連携により、トップアスリートの招へいなどのスポーツイベントが開催されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との連携によるスポーツイベントの継続 ・市のイベントへの参加促進
スポーツ団体との連携・協働	スポーツ協会やスポーツ推進委員等と連携し、様々なイベントを開催している。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体との連携強化 ・イベントへの支援
スポーツボランティアの活用	スポーツイベントによっては、学校に協力を要請して、ボランティアを募っており、スポーツボランティアバンク登録者だけでは対応できないものもある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアとしての参加促進 ・ボランティア活動内容の明確化、多様化

第5章 施策の展開

1 スポーツを「つくる/はぐくむ」

(1) スポーツの機会創出

障害の有無や年齢にかかわらず参加できるよう配慮しながらスポーツイベント等を開催します。一人でも多くの市民が、そのニーズに合ったスポーツに出会い、スポーツを続けることができるよう支援します。また、学校と連携を図りながら、体育学習の充実、運動系部活動の充実、家庭との連携を図り、児童生徒に運動する楽しさの啓発をします。

① 初心者の支援

主な取組	現 状	運営主体	連携
下松レクフェスタ 短期スポーツ教室	スポーツイベントなどでニュー スポーツの紹介などを行っている ほか、総合型地域スポーツクラブ、 スポーツ少年団などでは、初心者の 対応をしている。	市地域交流課 総合型地域 スポーツクラブ スポーツ少年団	スポーツ推進委員
今後の展開			
活動を通じて、参加しやすい環境づくりや仲間づくりを図る。 ・市が主催するイベントにおいて、初心者を歓迎し仲間づくりを推進 ・初心者が参加できる教室の案内や教室内容の情報の提供を充実 ・指導者の研修を通じて、初心者への対応力を向上 ・障害のある人や運動が苦手な人も気軽にできる軽スポーツの充実			

② レクリエーションスポーツの普及

主な取組	現 状	運営主体	連携
スポーツフェスティバル 下松レクフェスタ 短期スポーツ教室 e スポーツ体験会	市広報及び市ホームページ等の SNS を通じて情報提供し、スポー ツ教室の拡充、指導体制の充実な どを進めている。	市地域交流課	スポーツ推進委員
今後の展開			
みんなが楽しみ、スポーツを継続できる仕組みづくりを図る。 ・情報発信を工夫し、より多くの人にレクリエーションスポーツを普及 ・障害の有無にかかわらず、みんなが一緒に行えるスポーツの普及 ・ニュースポーツ用品の利用促進 ・e スポーツの普及と活用方法の検討			

③ スポーツ大会

主な取組	現 状	運営主体	連携
スポーツフェスティバル 下松駅伝競走大会 健康ウォーキング大会 下松レクフェスタ アイランドトレイル	様々な種目の大会を開催し、市民のスポーツ実施の機会を提供しているスポーツ関係団体と連携し、参加しやすい工夫を検討しながら進めている。	市地域交流課	スポーツ推進委員 スポーツ団体 企業
今後の展開			
<p>スポーツイベントへの参加者の増加を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老若男女幅広い年齢層の人たちが集い、実施できるスポーツイベントの増加 ・イベント内容の見直し ・イベントの周知方法の工夫 			

④ スポーツ教室

主な取組	現 状	運営主体	連携
スポーツフェスティバル 水泳教室 短期スポーツ教室 e スポーツ体験会	<p>水泳教室は、泳ぎを苦手とする児童を対象に、水泳のスキルアップを図っている。</p> <p>e スポーツ体験会は、新たなスポーツの在り方として、高齢者を対象に、認知症予防等を目的として開催している。</p>	市地域交流課	スポーツ推進委員 スポーツ団体 企業
今後の展開			
<p>スポーツを長く楽しむことを普及し、スポーツ実施率の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に向けた水泳教室の継続実施 ・短期スポーツ教室の全公民館の実施及び継続と参加者の増加促進 ・e スポーツの普及と活用方法の検討 			

⑤ 学校体育の充実

主な取組	現 状	運営主体	連携
体育授業 体力向上維新プロジェクト 新体力テスト	各学校における新体力テストの分析および「体力向上維新プロジェクト」に基づく取組を計画し、体育の授業改善と充実、家庭・地域との連携を図りながら、運動する機会の確保に努めている。	学校	県教育庁学校安全・体育課
今後の展開			
<p>運動を楽しむことや基礎体力の向上をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育授業を通じて、運動の楽しさを体感できる指導の実施 ・「体力向上維新プロジェクト」に基づいた、基礎運動能力の向上 ・新体力テストの継続実施 ・運動の重要性を授業の中で啓発 			

⑥ 運動系部活動

主な取組	現 状	運営主体	連携
運動系部活動	中学校では運動系部活動に所属する生徒の割合は高いが、学校部活動の地域移行により、所属する生徒数は徐々に減少している。	学校	外部指導者
今後の展開			
運動系部活動の円滑な地域移行を図る。 ・運動系部活動の活動日の段階的縮小 ・地域移行を見据えた、運動系部活動の指導者の育成・研修の実施 ・運動の楽しさの啓発			

⑦ P T Aなどの運動の充実

主な取組	現 状	運営主体	連携
P T A 活動	P T A 活動において、親子で取り組める活動・トレーニング等を紹介・実施し、広く啓発を図っている。	P T A	学校
今後の展開			
保護者がスポーツを楽しむことで子どもも運動の楽しさを知る。 ・参加促進の広報を充実 ・親子の参加により、親同士、親子同士の交流促進			

⑧ 指定管理者との連携

主な取組	現 状	運営主体	連携
体育施設管理	一般財団法人下松市施設管理公社を指定管理者として、市内体育施設の管理・運営を行っている。	指定管理者	市地域交流課
今後の展開			
指定管理者との連携を強化する。 ・部活動地域移行に伴う、地域クラブ活動を統括する運営団体としての機能強化 ・スポーツイベントの開催			

(2) 指導者の育成

スポーツの楽しさに気づかせ、積極的にスポーツを行う思いを育てたり、地域でスポーツ活動を活性化させたりしていくためには、その活動を支える指導者やボランティアが必要です。市民が幅広くスポーツに親しむ機会を提供するため、指導者の育成や資質向上に努めるとともに、活動の運営を支えるスタッフやボランティアの育成を図ります。

① 指導者育成支援

主な取組	現 状	運営主体	連携
指導者育成支援	指導者を育成するため、指導者研修や実技講習会などの充実を通じ、スポーツ推進委員などの資質向上などを促進している。	市地域交流課	スポーツ推進委員
今後の展開			
指導者を発掘・育成する体制の構築を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員の指導力向上 ・スポーツ少年団指導者を対象とした研修会の周知 ・若年層の指導者育成による、スポーツの好循環の創出 			

② ボランティア育成

主な取組	現 状	運営主体	連携
ボランティア育成	平成 27 年度に市スポーツボランティアバンクを設置し、スポーツイベントの際に参加の要請をしている。	市地域交流課	スポーツ推進委員
今後の展開			
スポーツイベントにおけるボランティアの積極的な活用を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に参加できる情報提供体制の整備（受入団体との連携強化） ・ボランティアの専門性を活かした役割分担 ・ボランティア活動可能なイベントの拡充、受入団体の拡大 			

(3) 競技スポーツの振興

競技スポーツ振興のため、スポーツ協会との連携を深め、地域のスポーツ活動やスポーツ協会主体の活動を支援します。また、トップアスリートの試合を積極的に誘致し、高いレベルに触れる機会を多く設けます。

① スポーツ協会

主な取組	現 状	運営主体	連携
全国大会出場 激励金交付	25団体の登録があり、各種スポーツ活動を行っている。全国大会出場激励金交付、会長賞の授与などで、競技力向上を図っている。また、下松駅伝競走大会や国体下松市代表選手団壮行会を市と共同で開催している。	スポーツ協会	市地域交流課
今後の展開			
スポーツ協会の組織強化を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ協会加盟団体の協調性を強化 ・行政との関わり方に関し自主運営の強化 ・競技力向上を目的とした研修会等の実施 			

② クラブチーム

主な取組	現 状	運営主体	連携
クラブチームへの 活動支援	現在、学校部活動やスポーツ少年団ではないクラブチームに所属する小学生や中学生がいるが、今後、学校部活動の地域移行に伴い、さらなる増加が予想される。	スポーツ団体	スポーツ協会 市地域交流課
今後の展開			
クラブチームへの活動支援による組織強化を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会出場激励金の交付 ・クラブチームの情報をホームページや SNS など周知 			

③ スポーツ見学

主な取組	現 状	運営主体	連携
トップアスリートの試合を誘致	わがまちスポーツである、ハンドボールとバドミントンでは、市内の会場でトップリーグの試合を開催し、多くの市民が観戦している。	市地域交流課	スポーツ協会
今後の展開			
<p>高いレベルに触れる機会を多く提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トップアスリートの試合を積極的に誘致 ・各種大会に関する情報をホームページや SNS などで周知 			



BADMINTON BANK LEAGUE in 山口



日本ハンドボールリーグ下松大会

2 スポーツで「あつまり、ともに、つながる」

(1) スポーツ関係団体の連携

各分野でスポーツを実施する団体や企業との連携を深め、スポーツを通じた地域の交流を促進します。また、事務局運営を通じて、各団体の自主的・自律的な運営の強化に努めます。

① スポーツ組織の育成

主な取組	現 状	運営主体	連携
事務局の運営 スポーツ協会、スポーツ少年団への補助金 総合型地域スポーツクラブ支援	スポーツ協会、スポーツ少年団の事務局運営を行い、組織の育成を図っている。 総合型地域スポーツクラブと連携した行事等の実施を通じて、クラブ関係者と意見交換を行っている。	市地域交流課	各種スポーツ団体
今後の展開			
組織及び組織を支える人材の育成を図る。 ・それぞれの団体が自主運営できるよう、組織運営支援や補助金の交付 ・スポーツ組織のリーダーとなる人材の発掘と育成 ・他団体、組織との連携を強化			

② 企業などとの連携

主な取組	現 状	運営主体	連携
トップアスリート等との交流事業	企業等の支援により、プロスポーツ選手、アマチュアトップ選手等による講演会や交流会を開催している。	関係企業	市地域交流課
今後の展開			
トップアスリート・オリンピック等との交流により、スポーツに対する関心をさらに高める。 ・アスリートと直に交流する機会の増加 ・講演会、交流会（選手と小中学生とのスポーツ交流等）の継続や市内企業、社会活動団体との連携強化 ・スポーツ講演会、交流会の広報を強化			

(2) スポーツと観光の連動

海や山等の自然を活かしたスポーツ関連イベントや普段からスポーツを楽しめる環境整備を進め、観光誘客と連携して地域の活性化につなげます。

① スポーツと観光の融合

主な取組	現 状	運営主体	連携
スポーツと観光による地域の活性化	市外から多くの人々が訪れるスポーツ大会や行事を通して、下松を満喫してもらい、繰り返し訪れてもらう機会を作っている。	市地域交流課	市地域政策課 商工会議所 市観光協会
今後の展開			
スポーツと観光が融合した地域の活性化 ・「わがまちスポーツ」として、クラブチームと連携したシティプロモーション活動 ・ホストタウン交流事業を通じた観光振興 ・ハイキングコースの整備・周知			

(3) 施設整備

各施設の機能や利用形態の状況把握をし、施設の小規模改修による耐震強化を図り、各スポーツ施設の特性に応じた効率的、効果的な施設運営と利活用を進めます。

① 小中学校体育施設利用促進

主な取組	現 状	運営主体	連携
学校体育施設利用促進	地域のより多くの住民が有効に利用できるよう、各小・中学校の体育館や運動場の利用について、各地域の公民館が管理を行っている。(平成26年4月開始)	公民館	市教育総務課
今後の展開			
地域への広報や利用申し込みに対する速やかな対応を行う。 ・ 利用状況、予約状況の明示を行い効率的な利用を促進 ・ 利用のしかたやマナーなどの指導の強化			

② 施設利用の推進

主な取組	現 状	運営主体	連携
体育施設管理	市民のスポーツニーズの把握に努めつつ、スポーツ施設の充実や駐車場などの附属施設の効率的運用を図っている。平成20年4月から指定管理者制度を導入し、管理、運営を行っている。	指定管理者	市地域交流課
今後の展開			
施設利用効率化を図り、より多くの市民の利用を促進する。 ・ ICTを活用した、利用申請方法の見直し ・ 学校の運動系部活動の利用に対する利用料金の軽減化 ・ 利用料金減免対象団体に対する減免の継続実施			

③ 施設整備

主な取組	現 状	運営主体	連携
施設整備	体育施設などの老朽化に伴う補修・修繕及び、器具・備品の購入を随時行っている。	市地域交流課	市住宅建築課 市財政課 指定管理者
今後の展開			
施設や備品の整備により、利用の安全確保と効率化を継続する。 ・ 多機能複合型スポーツ施設の整備 ・ 市民体育館などの施設改修工事等の実施による、施設の安全確保 ・ 器具・備品の整備により、安全確保や利用の促進			

3 スポーツに「誰もがアクセスできる」

(1) 生涯スポーツの推進

年齢や性別にかかわらず、誰もが生涯にわたって日常的にスポーツを楽しむことができるよう、スポーツ環境の整備に努めます。また、部活動地域移行に伴う地域クラブ活動の体制整備を図ります。

① 総合型地域スポーツクラブ

主な取組	現 状	運営主体	連携
スポーツ教室 交流大会の開催 トップアスリートによる 種目別教室の開催	「くだまつ絆星スポーツクラブ」が総合型地域スポーツクラブとして活動を行っている。 〔主な活動内容〕 卓球 パドルテニス ジュニア ハンドボール おさんぽりん等	くだまつ絆星 スポーツクラブ	市地域交流課
今後の展開			
総合型地域スポーツクラブの内容充実の推進を図る。 ・サークル数や会員数の増加、クラブ運営の資質向上、指導者の育成 ・活動場所の確保			

② スポーツ少年団

主な取組	現 状	運営主体	連携
全国大会出場激励金交付 各種表彰	9 種目 21 団体の登録があり、各種スポーツ活動を通じて、健全な心身の育成に寄与している。全国大会出場激励金交付や優秀指導者表彰などの事業を行っている。	スポーツ少年団	市地域交流課
今後の展開			
登録者の増加を図る。 ・各学校でスポーツ少年団の紹介やホームページなどで活動紹介など広報活動の推進 ・各団体間の交流の促進 ・指導者育成講習会の開催			

③ 地域クラブ活動

主な取組	現 状	運営主体	連携
学校部活動の地域移行	<p>学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行が全国的に進められている。</p> <p>本市においても部活動の活動日を段階的に縮小し、令和7年度末までを目標に休日の活動を地域に移行する。</p>	市地域交流課 施設管理公社	市教育委員会 スポーツ団体
今後の展開			
<p>地域クラブ活動の体制整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブ活動を統括する運営団体の設置及び支援 ・地域クラブ活動の登録要件の確立 ・スポーツ関係団体との連携強化 			

④ 健康増進

主な取組	現 状	運営主体	連携
ウォーキング事業 健康増進室	健康ウォーキング大会や健康マイレージ事業を通して、市民の健康・体力づくりを推進している。	市地域交流課 市健康増進課	スポーツ推進委員
今後の展開			
<p>スポーツを通じた健康づくりの推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング事業の参加者増加 ・健康増進室の利用促進 ・介護予防事業との連携 			

(2) 障害者スポーツの推進

障害者が自身の興味や関心に合わせてスポーツを楽しみ、交流ができるよう、スポーツイベントについて情報提供するほか、障害者関係団体やボランティアと連携を図りながら、障害者スポーツの推進に努めます。

① 障害者スポーツ活動の促進

主な取組	現 状	運営主体	連携
山口県障害者スポーツ大会(キラリンピック)	スポーツやレクリエーションへの参加を促進するほか、障害者関係団体及びボランティアと連携し、スポーツやレクリエーションを推進している。	県障害者支援課	市障害福祉課
今後の展開			
<p>障害者や障害者団体等のスポーツ・レクリエーション活動への支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キラリンピック等の周知による参加機会の拡大 ・障害者団体等への委託による、スポーツやレクリエーション教室の開催 			

② 障害者スポーツ活動の環境整備

主な取組	現 状	運営主体	連携
障害者スポーツへの理解と環境整備	障害者がスポーツを楽しめるようにイベント時における配慮や環境整備を進めている。	市障害福祉課 市都市政策課	市地域交流課
今後の展開			
障害者が自身の興味や関心に合わせて、スポーツを楽しむことができる環境整備を図る。 ・インクルーシブ遊具※を導入予定の恋ヶ浜緑地公園の活用及び周知 ・イベント時における、手話通訳者や要約筆記者といった意思疎通支援者の配置等の配慮 ・ボランティアの積極的な活用			

※インクルーシブ遊具とは、障害の有無にかかわらず、誰もが楽しめる遊具を指す。

(3) 情報発信

市民が知りたいときに、いつでもスポーツの情報が得られるよう、スポーツに関する情報提供を図ります。

① ICTの活用

主な取組	現 状	運営主体	連携
ホームページ整備 SNSの活用	スポーツイベント、スポーツ施設、スポーツ教室の案内などを、ホームページ等を利用して調べることができる。	市地域交流課	スポーツ施設 スポーツ協会
今後の展開			
情報提供力の強化を図る。 ・より多くの伝達手段によるイベント、教室などの情報発信 ・分かりやすいホームページの作成 ・体育施設利用におけるネット予約の導入			

② 周知・広報の推進

主な取組	現 状	運営主体	連携
スポーツネットきらら	市の広報やスポーツネットきらら発行により、スポーツイベントや教室の情報を周知している。	スポーツ推進委員	市地域交流課
今後の展開			
スポーツに関する情報の一元化を図る。 ・下松市のスポーツイベント、教室などの情報の幅広い収集、包括的な情報提供 ・SNSや紙媒体を活用した、より効果的な周知、広報の実施 ・スポーツネットきららの継続発行（年2回）及び周知の強化			

第6章 計画の推進

本計画に掲げた各施策の推進は、行政だけではなく、市民、スポーツ団体、民間企業などとの協働があってはじめて実現できるものです。今後は、これらの関係団体との役割分担のもと、共同・連携を進めていくとともに、ネットワークの形成に努め、本市のスポーツ推進を行っていきます。

1 市民・スポーツ各関係団体・行政との協働のしくみの構築

計画を着実に推進していくためには、関係する団体・機関、市民、行政が協働して取り組んでいくことが必要です。

計画の基本理念「生涯スポーツ活動による心豊かな生活の実現をめざして」を具現化するため、限られた地域の施設を有効活用するとともに、地域交流課を中心に、市民、スポーツ各関係団体及び庁内関係部局と連絡を密にし、協働体制による施策を展開します。

2 課内での進捗状況の把握

計画の改善をしていくためには、年度ごとの進捗状況を確実に把握していくことが重要です。

計画推進のため諸事業が円滑に実施され目標が達成されるよう、毎年、地域交流課で進捗状況について話し合い、重点施策の達成状況や、次年度の重点施策の確認を行い、PDCAによる適正な進行管理を行います。

※PDCAとは、Plan（計画）-Do（実行）-Check（評価）-Action（処置）の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に検証・改善する手法

3 計画の達成状況の検証

5年ごとに計画を見直していくため、達成状況を把握することが重要です。

計画の達成状況については、3年を目処に設定指標の適否を含め、その原因を検証するとともに、計画の見直しにあたっては、スポーツを取り巻く社会情勢の変化を踏まえ、着実かつ効果的な改善方策を検討することとします。

4 市民への周知

計画の策定に当たっては、学識経験者、学校体育関係者、スポーツ団体関係者、各種団体関係者からなる下松市スポーツ推進計画策定検討委員会において、検討するとともに、市民ワークショップを開催して、そこで出された意見を推進計画に反映させています。

市民と協働で作り上げた推進計画の状況を広く市民の皆様知っていただくため、市のホームページや広報紙などを使って周知を図っていきます。

資 料

- 1 学校体育に関する各種調査結果**
- 2 下松市スポーツ推進計画策定過程**
- 3 下松市スポーツ推進計画策定検討委員会設置要綱**
- 4 下松市スポーツ推進計画策定検討委員会委員名簿**

1 学校体育に関する各種調査結果

—全国運動能力調査結果（平成 30 年度と令和 5 年度の比較）—

《男子》

校種・学年		小学校5年生		中学校2年生	
種目		下松市		下松市	
		平成 30 年度	令和 5 年度	平成 30 年度	令和 5 年度
握力	(kg)	15.6	15.5	27.6	29.8
上体起こし	(回)	20.1	18.5	27.3	29.6
長座体前屈	(cm)	30.6	32.1	38.6	47.5
反復横とび	(点)	41.2	39.9	53.1	53.1
20mシャトルラン	(回)	57.9	44.9	93.4	85.6
持久走（中学校のみ）	(秒)	—		393.7	401.7
50m走	(秒)	9.4	9.5	8.1	8.0
立ち幅とび	(cm)	148.9	151.4	190.6	207.8
小 ソフトボール投げ 中 ハンドボール投げ	(m)	21.9	20.5	20.9	23.1

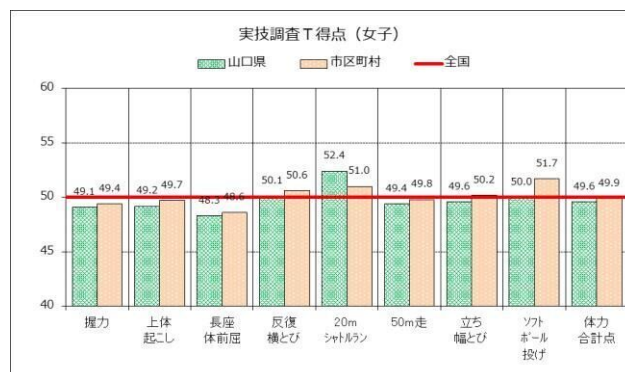
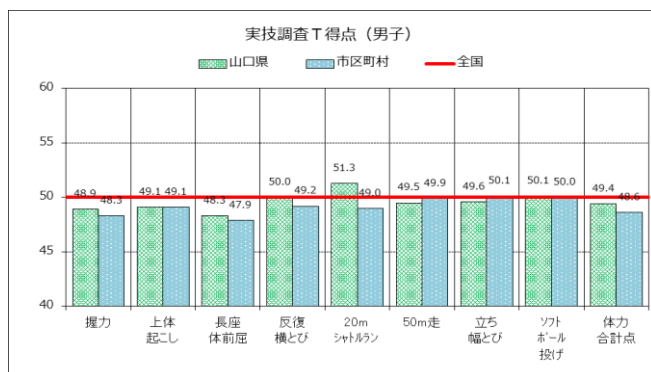
《女子》

校種・学年		小学校5年生		中学校2年生	
種目		下松市		下松市	
		平成 30 年度	令和 5 年度	平成 30 年度	令和 5 年度
握力	(kg)	15.6	15.8	23.1	23.1
上体起こし	(回)	18.8	17.9	26.0	25.5
長座体前屈	(cm)	34.4	37.2	42.0	47.7
反復横とび	(点)	39.5	39.2	49.0	48.5
20mシャトルラン	(回)	44.5	38.4	68.7	58.5
持久走（中学校のみ）	(秒)	—		280.5	290.6
50m走	(秒)	9.6	9.7	8.7	8.8
立ち幅とび	(cm)	142.1	144.7	168.8	175.2
小 ソフトボール投げ 中 ハンドボール投げ	(m)	13.6	14.0	14.6	13.4

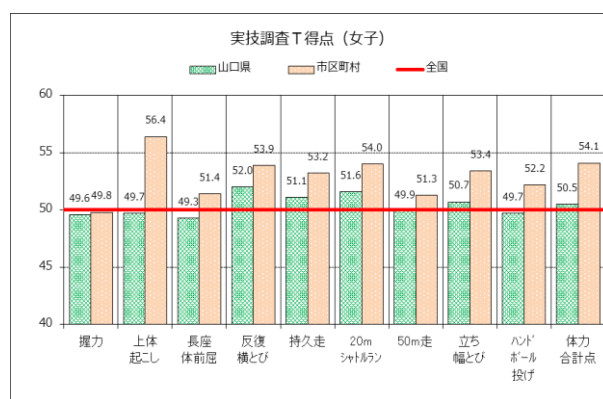
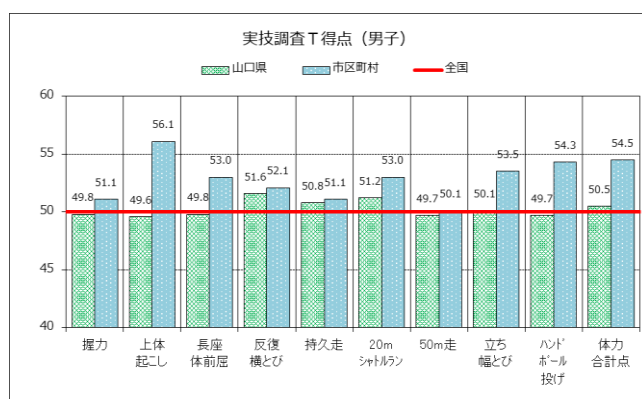
—全国運動能力調査結果（全国・県との比較）—

令和５年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、各種目の全国平均値を 50（赤線）とした時の数値（T 得点）をグラフで示したものです。

《小学校５年生》



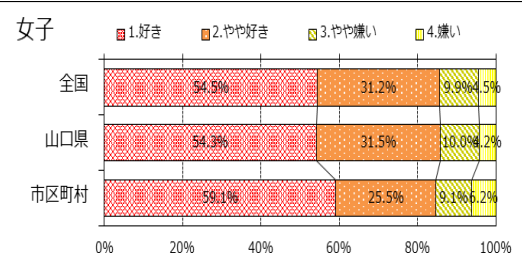
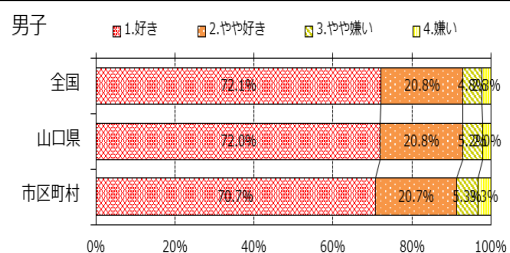
《中学校２年生》



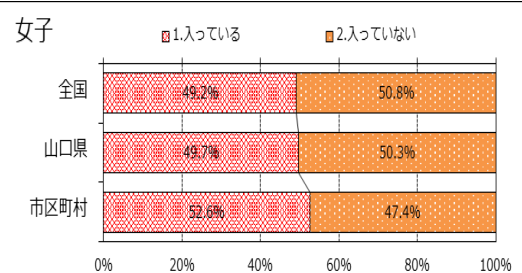
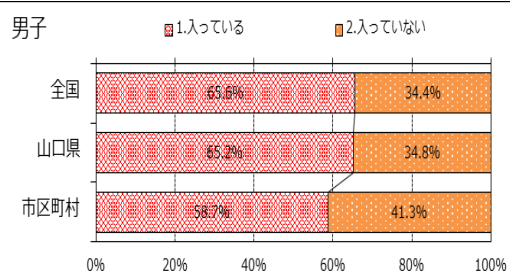
一児童・生徒の運動習慣等調査結果（一部抜粋）

《小学校5年生》

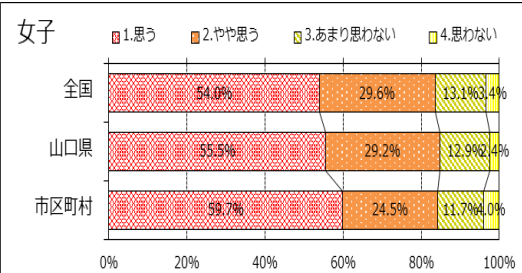
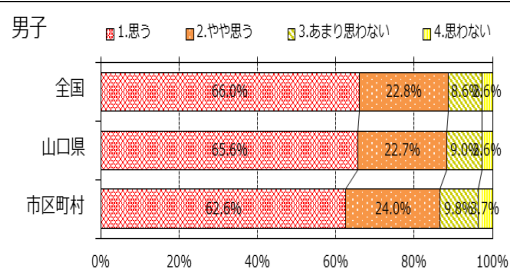
Q1.運動やスポーツをすることは好きか。



Q2.地域のスポーツクラブ(スポーツ少年団や習い事を含む)に入っているか。

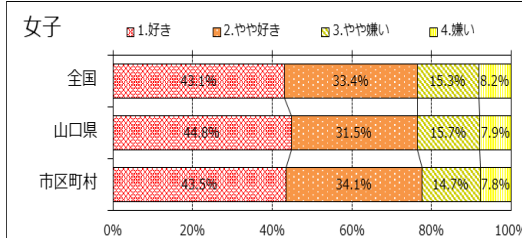
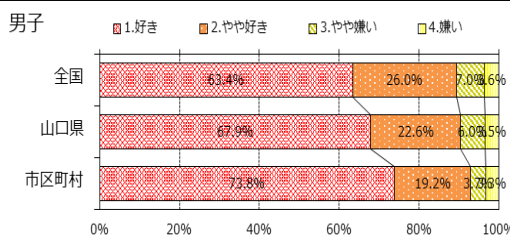


Q3.中学校に進んだら、授業以外にも自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいか。

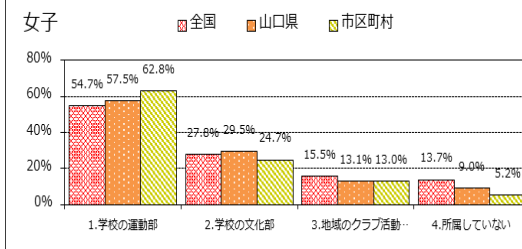
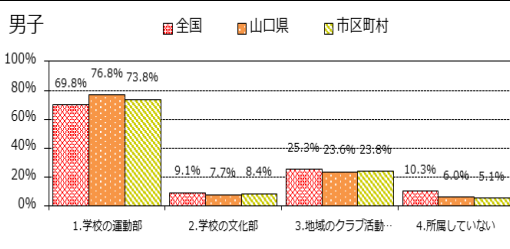


《中学校2年生》

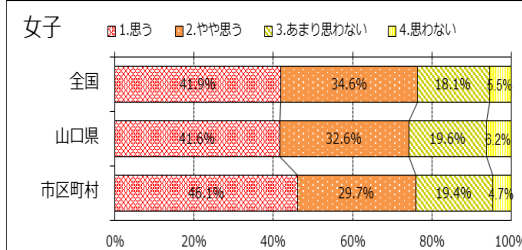
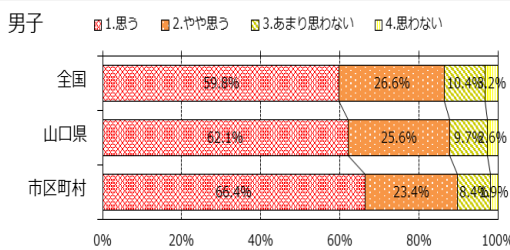
Q1.運動やスポーツをすることは好きか。



Q2.学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属しているか。



Q3.中学校を卒業した後も、自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいか。



2 下松市スポーツ推進計画策定過程

項 目	日 程	場 所
事務局担当者会議 「計画策定工程打合せについて」	令和 5 年 8 月 28 日	下松市役所 4 階会議室
第 1 回下松市スポーツ推進計画策定検討委員会	令和 5 年 11 月 27 日	下松市役所 4 階会議室
事務局担当者会議 「ワークショップの進行・運営について」	令和 5 年 12 月 13 日	下松市役所 4 階会議室
下松市スポーツ推進計画の策定に向けた 「市民ワークショップ」	令和 5 年 12 月 16 日	ほしらんど くだまつ サルビアホール
事務局担当者会議 「ワークショップまとめ及び計画骨子案の検討 について」	令和 6 年 1 月	下松市役所 4 階会議室
第 2 回下松市スポーツ推進計画策定検討委員会	令和 6 年 1 月 31 日	下松市役所 4 階会議室
第 3 回下松市スポーツ推進計画策定検討委員会	令和 6 年 2 月 20 日	下松市役所 4 階会議室
パブリックコメント	令和 6 年 3 月 4 日 ～3 月 25 日	
事務局担当者会議 「計画最終案の検討」	令和 6 年 3 月 26 日	下松市役所 4 階会議室

3 下松市スポーツ推進計画策定に関する検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条第1項の規定に基づき、令和6年度以後のスポーツの推進に関する計画の策定に関し、幅広い意見を聴取するため、下松市スポーツ推進計画検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について事務を行う。

- (1) 下松市スポーツ推進計画(以下「計画」という。)の調査及び検討に関する事項
- (2) その他計画の調査及び検討に必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者の中から市長が依頼をし、承諾を受けた者とする。

- (1) 学識経験者
- (2) スポーツ団体関係者
- (3) 学校教育関係者
- (4) その他市長が必要と認める者

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を各1名置き、委員の互選によって定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

4 委員の任期は、第1条に掲げる目的が達成された日までとする。

(会議)

第5条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が必要と認めるときに招集する。

2 会議の議長は、委員長をもって充てる。

3 会議は、委員の過半数の出席により成立する。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数の場合は議長の決するところによる。

5 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。

(謝礼)

第6条 会議に出席した委員に対し、1日の出席につき3,000円の謝礼を支払う。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、地域振興部地域交流課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は、令和5年10月17日から施行する。

(最初の会議の招集)

2 この要綱による最初の会議は、第5条第1項の規定にかかわらず、市長が招集する。

(この要綱の失効)

3 この要綱は、第1条に掲げる目的が達成された日限り、その効力を失う。

4 下松市スポーツ推進計画策定に関する検討委員会委員名簿

番号	分野	所属団体	氏名
1	学識経験者	周南公立大学 福祉情報学部	◎瀬尾 賢一郎
2	スポーツ団体 関係者	下松市スポーツ協会	設楽 健治
3		下松市スポーツ推進委員協議会	○石津 孝弘
4		総合型地域スポーツクラブ NPO法人「くだまつ絆星スポーツクラブ」	小本 輝夫
6		下松市スポーツ少年団本部	田村 育人
7	その他関係団 体関係者	シニアクラブ下松	三吉 武
8		山口県パラスポーツ指導者協議会	岡田 芳実
9	学校教育 関係者	下松市小学校体育連盟	中村 哲也
10		下松市中学校体育連盟	内山 直樹
11		下松市高等学校体育連盟	二木 直人

※◎は委員長、○は副委員長